

令和6年度 厚生労働行政推進調査事業費補助金
(新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業)
分担研究報告書

HPV ワクチンなどのワクチン接種後に生じる種々の症状についての調査と
その対応方法に関する研究

研究分担者 木村 慎二

研究要旨

目的：HPV ワクチン接種後に生じる種々の症状についての新潟県内の調査とその対応方法を明らかにすることである。方法：新潟県では新潟大学医歯学総合病院の地域連携室が窓口になり、他院からの相談をまず、ファックスで受け付ける。その後、産婦人科の担当医が症状により、受診科を振り分け、痛みが主な症状の際は、リハビリテーション科医師、その他の症状は小児科、産婦人科、麻酔科で対応する。また、心理社会的要因が疑われる場合は小児心理専門医、麻酔科、精神科等で検討するシステムを用いて、1年間の受診者およびその症状等を調査した。結果：新潟県では2024年度1年間でHPV ワクチン接種後の種々の症状によって、新潟大学医歯学総合病院への受診者は11名であった。年齢は13歳から23歳までの平均17.7歳、主な症状は痛み5例、発熱3例、月経不順2例、調節障害1例であった。全例症状が3か月経過する前に当院を受診していた。経過として、リハビリの自主トレ指導5例、経過観察5例、症状回復が1例であった。のべ患者総数も11例、アンケート調査を記載した症例数も11例であった。症状が残存もしくは悪化の際は再診の連絡をいただくように伝えたものの1例も連絡はなかった。結論：本ワクチン接種による種々の症状への対応が新潟大学医歯学総合病院では適切に行われていたと考えられる。

A. 研究目的

HPV ワクチン接種後に生じる種々の症状についての新潟県内の調査結果とその対応方法を明らかにすることである。

(倫理面への配慮)

本研究については、愛知医科大学医学部倫理委員会（承認番号：C2023-0018）を通して行っている。

B. 研究方法

以下の図1に沿った診療システムに沿って、2024年度に症状が出た患者の診療状況を調査した。

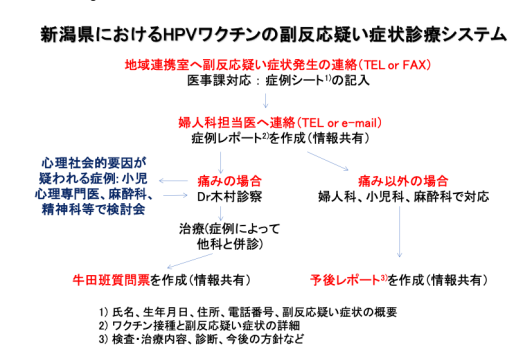


図1 新潟県におけるHPVワクチンの副反応疑い症状診療システム

C. 研究結果

図1の診療システムに沿って、受診患者の総数は11名であった。厚労省からの積極的接種推奨に伴い、新潟県でも接種数が増加している。それと共に、疼痛を含むワクチン関連症状の増加傾向が見られる。年齢は13歳から23歳までの平均17.7歳、主な症状は痛み5例、発熱3例、月経不順2例、調節障害1例であった。全例症状が3か月経過する前に当院を受診していた。経過として、リハビリの自主トレ指導5例、経過観察5例、症状回復が1例であった。痛みに関してはリハビリテーション科医師を受診し、運動療法の自主トレを柄付きのパンフレットを使用したりして、指導した。その

他の症状に関しては、産婦人科、小児科が主に対応した。全ての症例でその後、症状残存もしくは増悪で再診することはなかった。

D. 考察

かつて、HPV ワクチンの接種後に生じる種々の症状の中で、痛みに関しては重度になり、それによって廃用症候群となり、車椅子生活になってしまった症例等も報告された。2022 年 4 月からの厚生省の積極的推奨が始まってからは、各都道府県を中心に図 2 のようなフローを作成し、患者のたらい回しや患者および家族への診療の適切なシステムを普及したことで、痛みを含めて副反応の報告は極めて少なくなっており、新潟県は 2023 年度 1 年間で大学病院への受診者 1 名、電話相談 3 名のみであったが、接種数の増加と共に 2024 年度は 11 例の受診があった。

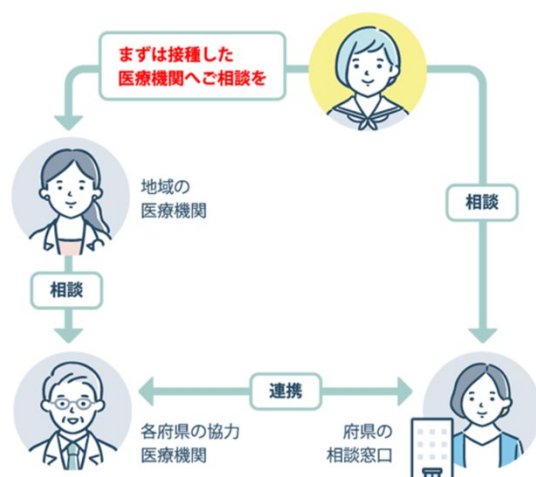


図 2 HPV ワクチン接種後の種々の症状の相談フロー

E. 結論

新潟県では 2024 年度 1 年間で HPV ワクチン接種後の種々の症状の新潟大学医歯学総合病院への受診者は 11 名であった。年齢は 13 歳から 23 歳までの平均 17.7 歳、主な症状は痛み 5 例、発熱 3 例、月経不順 2 例、調節障害 1 例であった。全例症状が 3 か月経過する前に当院を受診していた。経過として、リハビリの自主トレ指導 5 例、経過観察 5 例、症状回復が 1 例であった。のべ患者総数も 11 例、アンケート調査を記載した症例数も 11 例であった。症状が残存もしくは悪化の際は再診の連絡をいただ

くように伝えたものの 1 例も連絡はなかった。本ワクチン接種による種々の症状への対応が適切に行われていたと考えられる。

F. 健康危険情報

特になし。

G. 研究発表

1. 論文発表

- 1) 令和 6 年度 厚生労働省 ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種に関する相談支援・医療体制強化のための地域ブロック拠点病院整備事業 活動報告書 甲 信越地区 一令和 7 年 3 月一

2. 学会発表

無し

H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし